

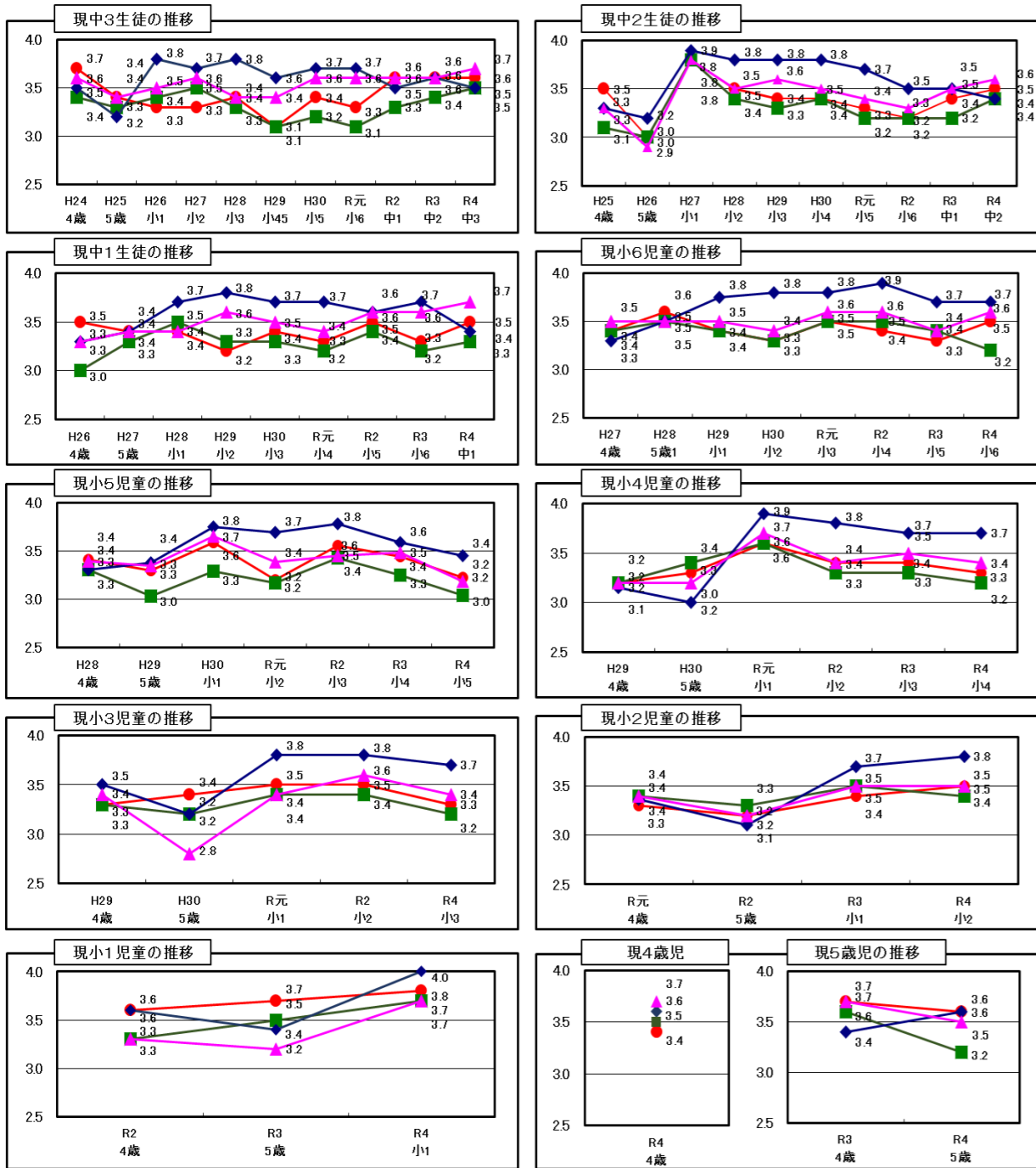


田上の12か年教育とキャリア教育

1 「4つの行動」の園児、児童、生徒の自己評価 (R4年度 田上の12か年教育アンケート結果より)

毎年、「4つの行動」のアンケートを実施しています。以下は、年長組園児から中3生徒までの園児児童生徒の現学年まで自己評価(4段階評価)の変容です。

● 話を聞く ● 役割を果たす ● 考えもち伝える ● 明るい挨拶

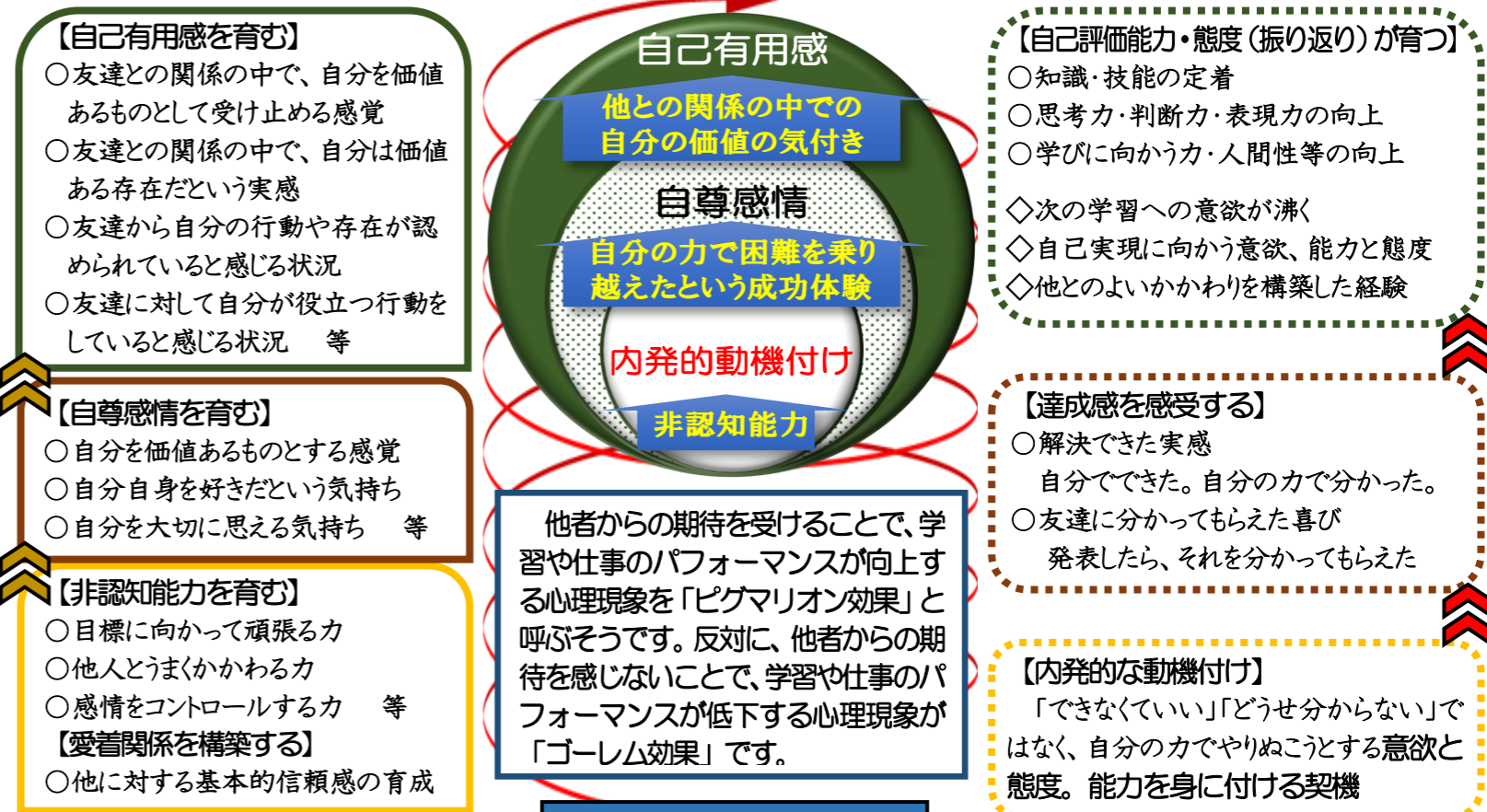


「自分の役割を果たす」、「明るいあいさつをする」、「話を聞く」ことの自己評価は、概ね高い状況にあります。しかし、「考えをもち伝える」ことの自己評価が、小学校中学年ぐらいから低下する傾向があります。主体的、協働的な学びのためにも、「間違っていないだ」「発表しようとする気持ちと意欲が大切なんだ」という学びに向かう自発性を育むこととそれを許容する集団づくりで、子どもの成功体験を支援します。



幼小中の連携と一体感のある経営と指導

1 齟齬の少ない一人一人の経営と指導に向けた努力



【自己有用感を育む】

- 友達との関係の中で、自分を価値あるものとして受け止める感覚
- 友達との関係の中で、自分は価値ある存在だという実感
- 友達から自分の行動や存在が認められていると感じる状況
- 友達に対して自分が役立つ行動をしていると感じる状況 等

【自尊感情を育む】

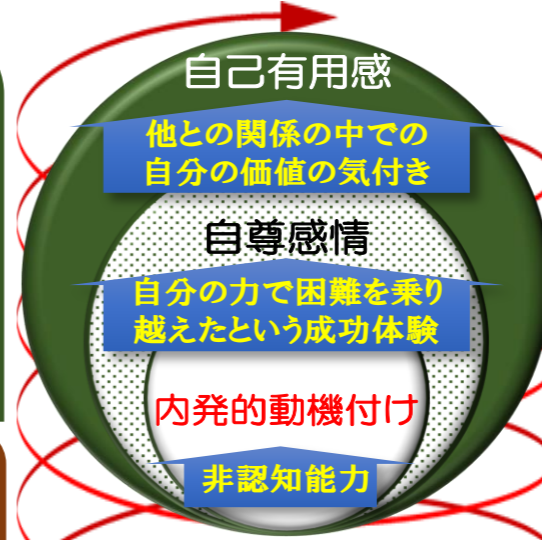
- 自分を価値あるものとする感覚
- 自分自身を好きだという気持ち
- 自分を大切に思える気持ち 等

【非認知能力を育む】

- 目標に向かって頑張る力
- 他人とうまくかかわる力
- 感情をコントロールする力 等

【愛着関係を構築する】

- 他に対する基本的信頼感の育成



他者からの期待を受けることで、学習や仕事のパフォーマンスが向上する心理現象を「ピグマリオン効果」と呼びます。反対に、他者からの期待を感じないことで、学習や仕事のパフォーマンスが低下する心理現象が「ゴーレム効果」です。

【自己評価能力・態度(振り返り)が育つ】

- 知識・技能の定着
- 思考力・判断力・表現力の向上
- 学びに向かう力・人間性等の向上
- ◇次の学習への意欲が湧く
- ◇自己実現に向かう意欲、能力と態度
- ◇他とのよいかかわりを構築した経験

【達成感を受感する】

- 解決できた実感
- 自分でできた。自分の力で分かった。
- 友達に分かってもらった喜び
- 発表したら、それを分かってもらった

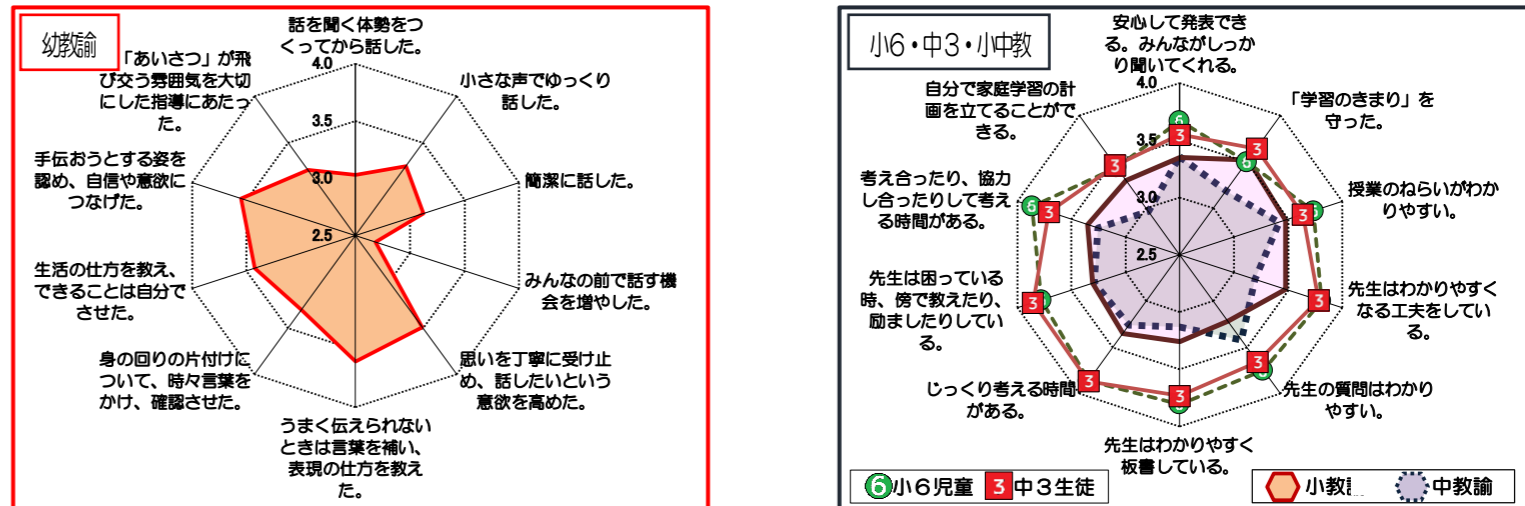
【内発的な動機付け】

「できなくていい」「どうせ分からない」ではなく、自分の力でやりぬこうとする意欲と態度。能力を身に付ける契機

幼小中の経営と指導

- 「間違っていない！」という園児児童生徒の積極性を大切にする。
- 園児児童生徒同士の「許容性」と「寛容性」を大切にする。
- 園児児童生徒の中から芽生える学習と生活の規律を大切にする。

2 授業改善をつくり出す共通の主な取組 (令和4年度 園児・児童・生徒・教師への田上の12か年教育アンケート結果)



幼稚園は、全職員で園児の「考えを表現する意欲と方法」と「手伝いによる自信と意欲の醸成」に努めています。

児童生徒は、「自分が考える時間設定」「先生は困っている時に助けてくれる」ことを高く評価しています。